



偉業達成

高橋 香樹

「書苑」が十月号で創刊八〇〇号の偉業を成しとげます。創刊は昭和二十五年三月。競書誌としてはかなり早い発刊ではないかと思えます。創刊時、高塚竹堂先生から「三年続けば何とかなる」との励ましの言葉があったとか。以来、一回の遅滞、休刊もなく発刊し続けてきました。これは、平岡華雪先生、平岡篤頼先生、鈴木静村先生の御苦勞、御努力があったればこそですが、何よりも書苑をささえてくれた会員諸氏、とりわけ支部長先生の尽力が多であったからだと思います。さらには、編集を担当する事務局の苦勞を惜しまぬ傾注があればこそと、ここに感謝の意を表したいと思います。

今回の記念誌上展には、賛助出品として、一四五点を数え、書苑らしい一党一派に捉われることなく、幅広い作品が出品されました。今、書道界は順風満帆どころか、少子高齢化にともない厳しい状況におかれています。書苑誌では、近年「漢字かな交じりの書」、「一字書」と新しい部門も創設され、現代の書の分野をほぼ網羅したと思われまます。今後も魅力ある書道誌となるように研鑽してまいります。

昨今「書道Ⅱ展覧会」というのが書道界における一般の人々の受け止めかたと思われまます。書苑では、展覧会を十年ごとに開催しており、四年後の平成三十二年には創立七十周年を迎えます。会員一同、更なる前進を続け七十周年記念展に向けて邁進しようではありませんか。



「書苑八百号を祝して」 飯泉 雪堂

このたびは、誠に大慶至極に存じ心より御祝詞申し上げます。

昭和三十年一月、職場の書道部の師として華雪先生をお迎えいたしていることを知り、その書風に魅せられ入会、以来六十年、その真髓を追求するも道なかなの状態です。今まで発刊された記念誌上展号を閲覧し感無量です。

次に、会長高橋香樹先生の本会に対してのご活躍に衷心より敬意と感謝を申し上げる次第でございます。八百号記念誌上展という一大事業のため、さぞや御心勞のことと拝察いたします。余人をもつて代え難い職務なれば、卓越せる手腕に加え叡知と情熱をもつて、会を挙げて全総力を結集し、見事完遂成功されますようご祈念申し上げます。



「永遠の願い」 北島 菁丘

この度の八〇〇号記念誌上展、心からお祝い申し上げます。

何事も長年継続する間には、色々な事態が発生するのは必然の事ではありますが、今日まで大過なく順調に続けられましたのは、創設者、平岡華雪先生の絶大なお力。それを継続された諸先生と現在益々充實を図り他誌に勝る、会長高橋香樹先生のお力あればこそなのでございます。

現在多発する残酷な事件の中にあつてもこの会誌によって筆を執る事で心が満たされ、精神の陶冶になるものと信じます故この文化は絶えさせてはならないと思えます。最近若い方々が会の進展を見せているのも嬉しく思います。筆は私にとって命の糧でございます。

「書筵」と共に歩んで

小暮 菘華



書筵八〇〇号記念誌発刊おめでとうございます。

発刊以来六十七年「書筵」は堂々たる熟年期に入りました。素晴らしいことです。

創始者平岡華雪先生から四代に亘る会長先生方のお力大なることは勿論、書筵に係わったすべての方々の力の結集があつてこそです。

私は二十代に勤務先の商工中金で、同じ職場の平岡華雪先生に巡り合い「書筵」を知りました。爾来六十年紆余曲折はありつつも、◎や写真版、昇級を楽しみに出品を続けました。

推薦取得、研究部への挑戦は辛い乍らも結果の出た時の喜びは何物にも代え難いものでした。「漢字かな交じりの書」部門も鈴木静村先生が新設され、現在「書筵」は現高橋会長によりますます進化しています。今後の更なる発展を心から祈っております。

「お目出度うございます」小林 光葉



書筵八〇〇号心からお祝い申し上げます。私は昭和二十八年、家内 春葉は昭和三十年から書筵に入会、二葉で平岡華雪、篤頼両先生、鈴木静村先生のご指導をいただいて六十余年もお世話になったことになりました。そしてその傍らで折りにふれ、平岡不二子先生の温かなお励ましのお言葉をいただきました。お陰で今日の私共の書があるわけです。

書筵誌からは、書を通しての教育的な目線と温かな心情が伝ってまいります。これ等の伝統が会員を育み、会の今日をもたせられたものといえるでしょう。

新会長、高橋香樹先生のご指導のもと「書筵」のますますの発展を願ってやみません。

「尊いつみ重ね」

石原 春香



記念すべき八〇〇号記念誌上展号の発行心よりお慶び申し上げます。平岡華雪先生創立の「書筵」の六十有余年の長きの積み重ねは華雪先生から篤頼先生・鈴木先生・高橋先生へのバト

ンタッチが上乘ということだと思います。この会の特筆すべきところは、他誌には見られない昇試結果の点数を誌上に発表するところにあります。よって受験者は納得します。昨今書壇では、入選、入賞の数確保をする為会員に無理を強いる傾向がありますが、書筵会にはそれが無い。時に「我流」「吾流」に落ち入りやすい恐さも感じますが、「全国書筵の集い」の企画・席上揮毫などにより学ぶ機会があり、自然体の取り組みに会員を育む温かさを感じます。更なる発展を強く祈念致します。

「書筵誌と共に」

外川 霞夕



書筵八〇〇号おめでとうございます。

戦後間もない昭和二十五年平岡華雪先生が創刊され、歴代会長から現高橋会長へとバトンタッチされ、永年に亘り受け継がれてまいりました偉業に敬意を申し上げます。私は昭和四十七年子供が小学校に入学し、お習字のお稽古を始めようと穂谷野夕秋先生の白水会に入門させて頂きました。そこで、「書筵」誌と出合い『毎月課題を必ず出品するように』の一言を心に掛け、以来それを目標にしていきました。当時に比べ現在は漢字かな交じり書、一字書、研究部、臨書と充実し、頼りにしております。師匠病氣療養の為、白水会、静岡原有志、轍会が合同で月二回書筵誌を中心とした練成会を行い灯を消さぬ様続けております。益々のご発展をお祈り申し上げます。

◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料430円

蜀素帖 米芾



1、字句 野多滞穂
2、形式 半紙タテ使用。右に「野多」、左に「滞穂」と二行に臨書し、余白に落款「〇〇臨」と調和を工夫し書き入れる。

3、概観 米芾の筆遣いには特徴的なものが多く見られますが、その中でも特に一字における太細の変化があります。掲載されている図版を見ても、一行目は全てと言っていい程強弱の用筆がみられます。

一般的には、押すでもない引くでもない位置での使用が一番書き易く、とかくこの位置で書き通してしまいます。押す引くは書き手が意志をもって運筆しなければなりません。この米芾の線の書き方は大変参考になります。特に、点を打つのは特徴的で、55ページ原帖一行目の「月」や八月号の課題の「帆」などに顕著にみられます。

4、各字のポイント

野 一画目は下すばまり。続く横画を書き縦画は最後。旁は一、二、三画目の方向に変化。

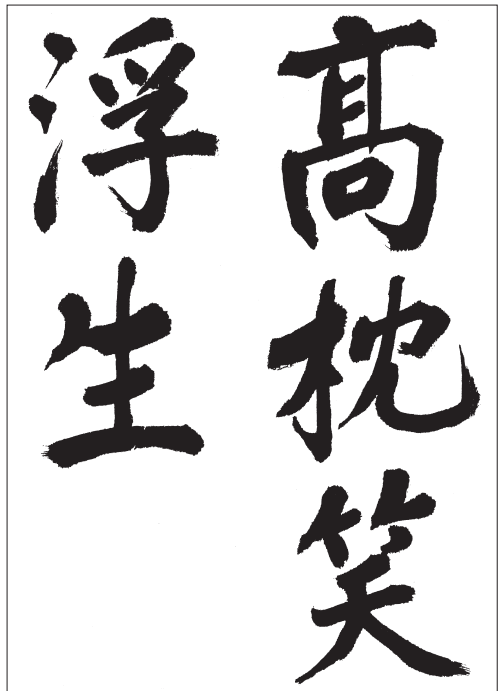
多 一、二画はすくうように。点線は意連。下の「夕」は太い線。

滞 三水の一画目から二画目は広く間をとる。旁は横画を書いてから縦四本書く。六画目は前の画を受けてから押さえ次画へ。△で面を変え。終画は細線でスキリと。

穂 禾偏一画目は横に払い次画に意連。三画目では裏面で。旁一画目は軽く運筆。△で筆を突き引き上げる。縦画は「心」の後で書く。

半紙課題(予告)

(十二月二十二日締切)

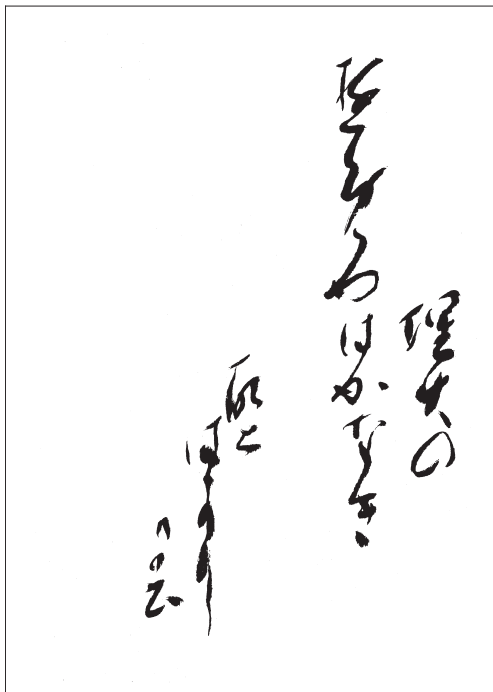


平岡華雪先生書 枕を高くして浮生を笑う(杜甫)

訳：風流を楽しんで俗な人生を笑う。

平岡華雪先生書

埋火のゆめやはかなきことばかり(子規)





揚帆載月遠相過 佳氣葱々聽誦歌 路不拾
帆を揚げ月を載せ遠く相過ぎ 佳氣葱々として誦歌を聴く 路に遺物を拾わず
帆を揚げ月を載せて遠くからやってくる、めでたい空気があふれるように歌声が聞こえてくる。道路には落し物を拾う者もなく

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粋可。
随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五四〇円。

一字書（十一月二十二日締切）

課題

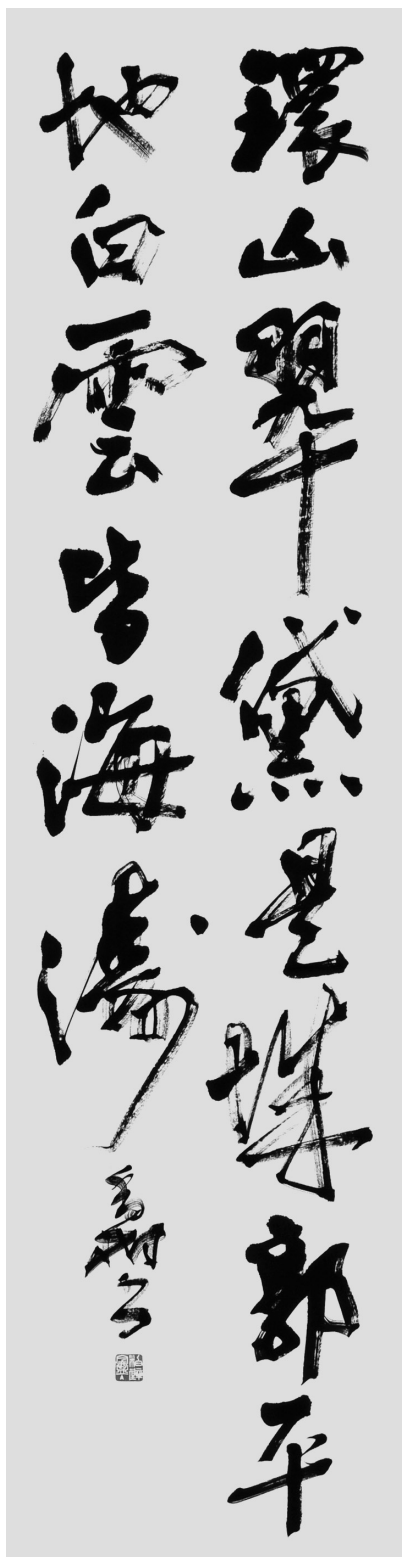
墨

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ・ヨコ自由
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四三〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に
一字と記入 段級は無記入

A

高橋香樹会長書

環山翠黛是城郭 平地白雲皆海濤 (虞集)
かんざん すいたいこ じょうかく へいち はくうんみなかいたう
 環山の翠黛はれ城郭、平地の白雲皆海濤。



B

鈴木静村先生書

今回は直線による作としました。作品的には曲直交ぜた方が効果的とは思いましたが、敢えて試みましたが、直線だと硬くなりがちです。その点注意したい。「山」この形古典にあります。「城」の草書は誤字になることが多いので字典にあたりたい。墨継ぎは「郭」と「皆」。



概観 単体作品のむずかしさは、字々の脈絡である。キレギレに見えるのはマイナス。いかにキレギレに見えないようにと工夫を重ねる。これは私の日頃の取り組み。その具体的な一つ。連綿(実画)をどこかの部分に入れること。例えば、地白・皆海、要は線だけのつながりではなく、気脈のつながりこそ大切。

予告 (十二月二十二日締切)

蒼山半帯寒雲重

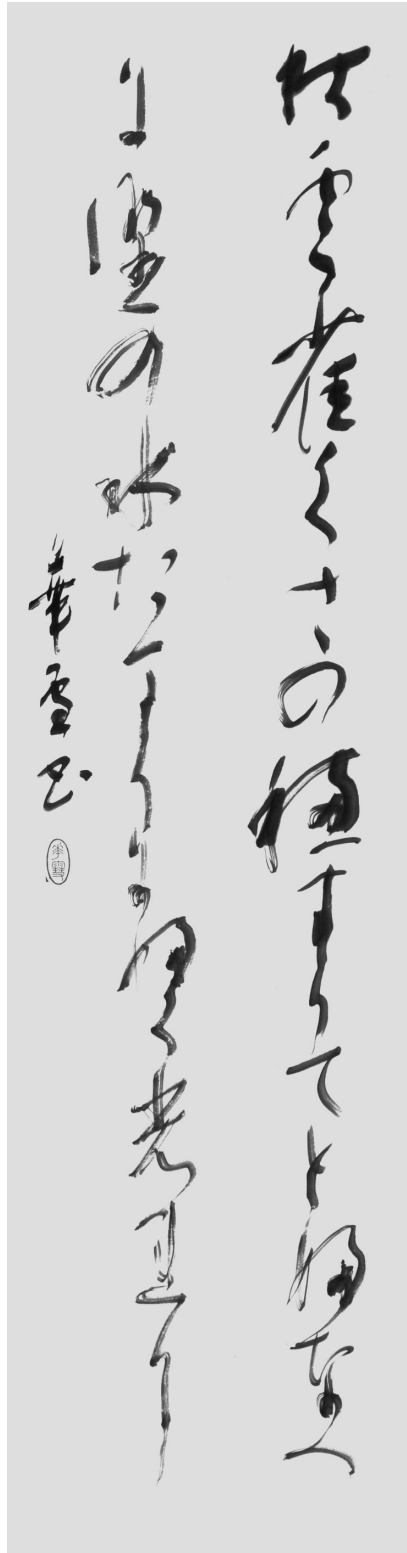
丹葉疎分夕照微 (林通)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

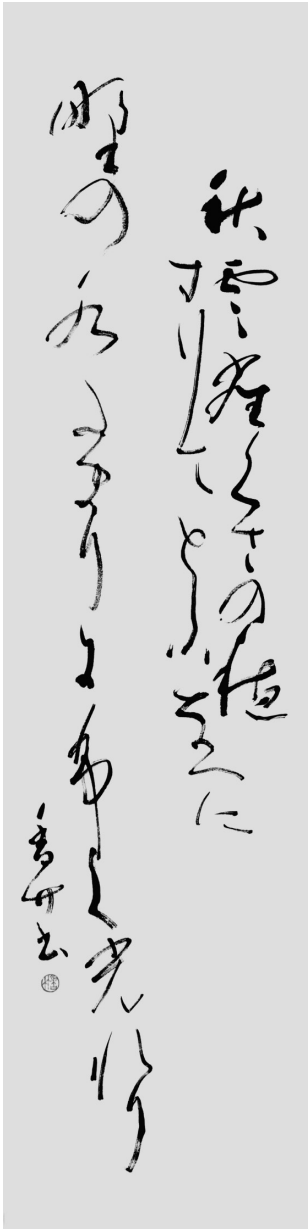
秋雲雀草の穂すりてとぶなべに野の水たまりにぶく光れり (川田順)
秋雲雀久さの穂すりてと婦なへ野の水たまり尔婦久光連り



B

青柳香竹先生書

秋雲雀久さの穂すりてとぶなへに野の水多末り尔布久光れり



学び方

漢字の多い短歌ですが、仮名条幅作品として、やさしく書きました。
今回は三行書きにしてみましたので、行間を考えるさくならないように潤濁・疎密・文字の大小を工夫して書いてみました。
「すりてとぶなへに」は字幅をせまく添えるように、「野の水多末り」はゆったり伸びやかに、そして左右の行の揺れも加味したい。歌意は詠んでその情景はよくわかりますね。「にぶく光れり」は作者の目にすんなり入った光景でしょう。

予告 (十二月二十二日締切)

み空ゆく月の光は澄みながら山の枯原かすみたるらし (土田耕平)

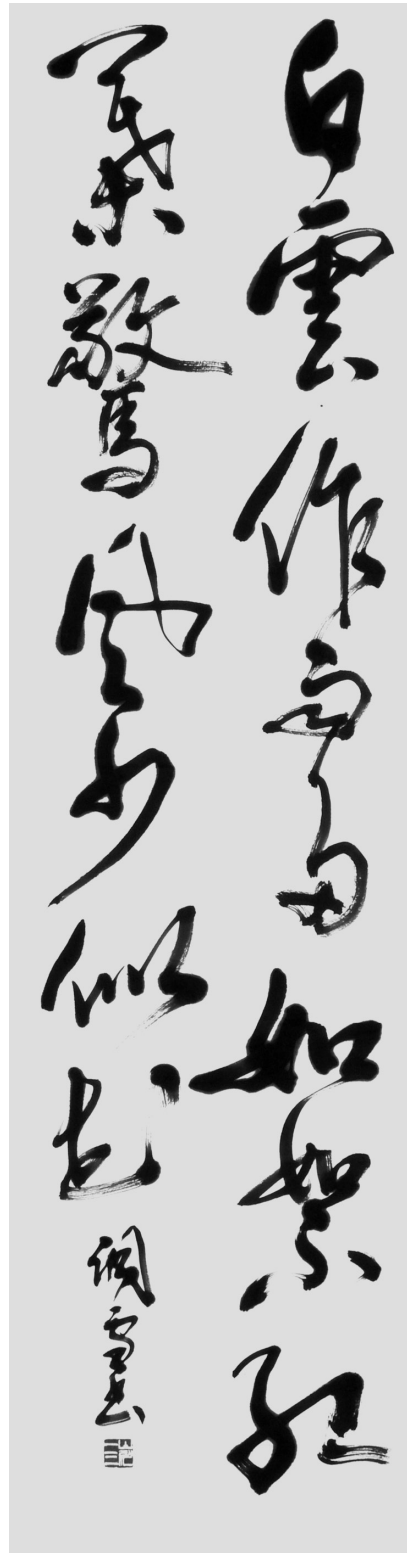
川田順
一八八二年～一九六六年
東京浅草生まれ。佐々木信綱門下。戦後は皇太子の作歌指導や歌会始めの選者をつとめた。
源実朝・西行・藤原定家らの研究もある。
川田順全歌集(中央公論社 一九五二年)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

条幅部 随意参考

加藤 洞雪 先生 書

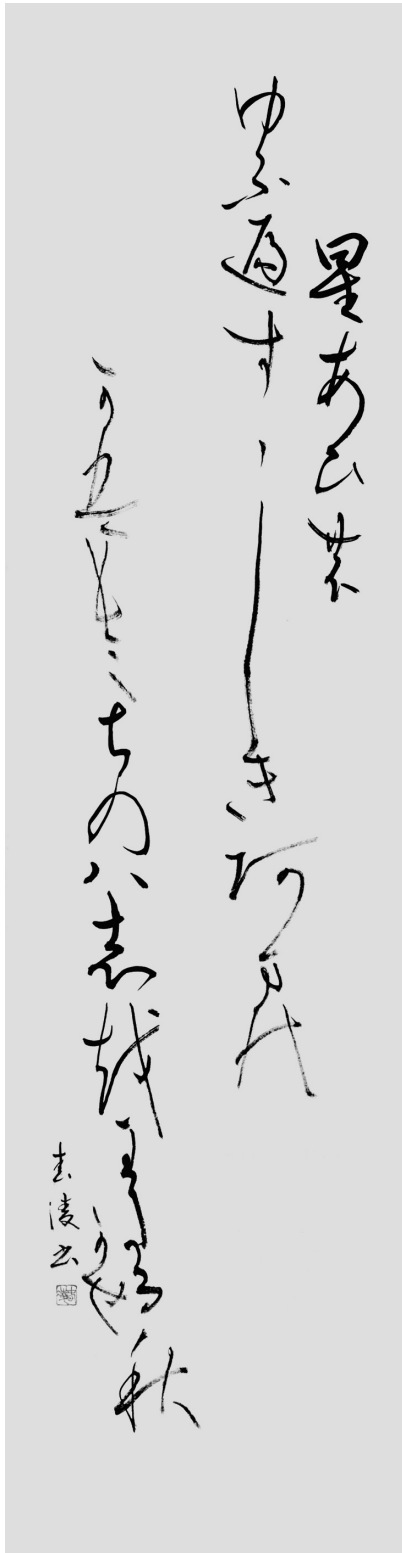
白雲作雨多如絮 紅葉驚風少似花（劉澳）
 白雲雨を作し多く絮の如く、紅葉風に驚き少しく花に似たり。



訳：秋の白雲は雨と化してちぎった綿のように流れる。紅葉は風に飛散してやや落花に似ている。

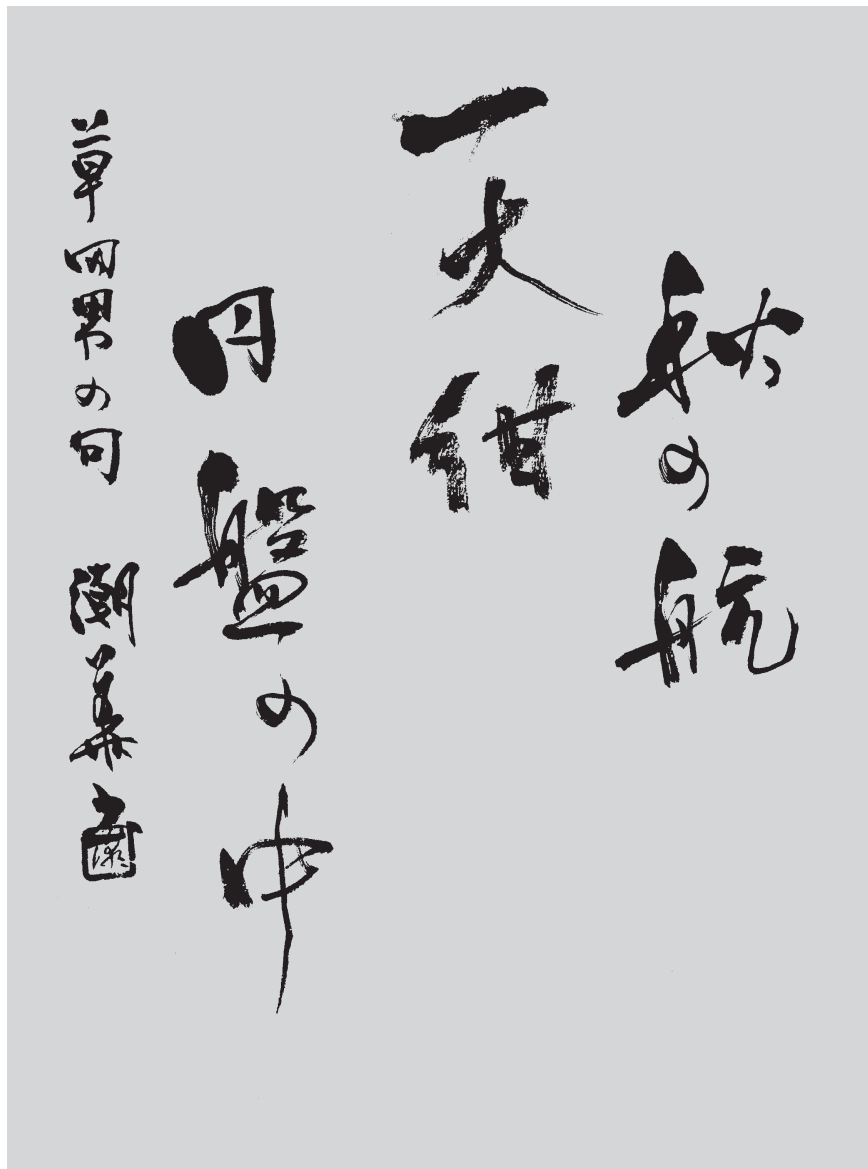
武井 春凌 先生 書

星あひのゆふべすゞしきあまの河もみぢの橋をわたる秋風（新古今和歌集 権中納言公経）
 星あひ農ゆふ遍すゞしき阿万能可盤も三ちの八志越王多る秋可せ



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

水貝潮華先生書



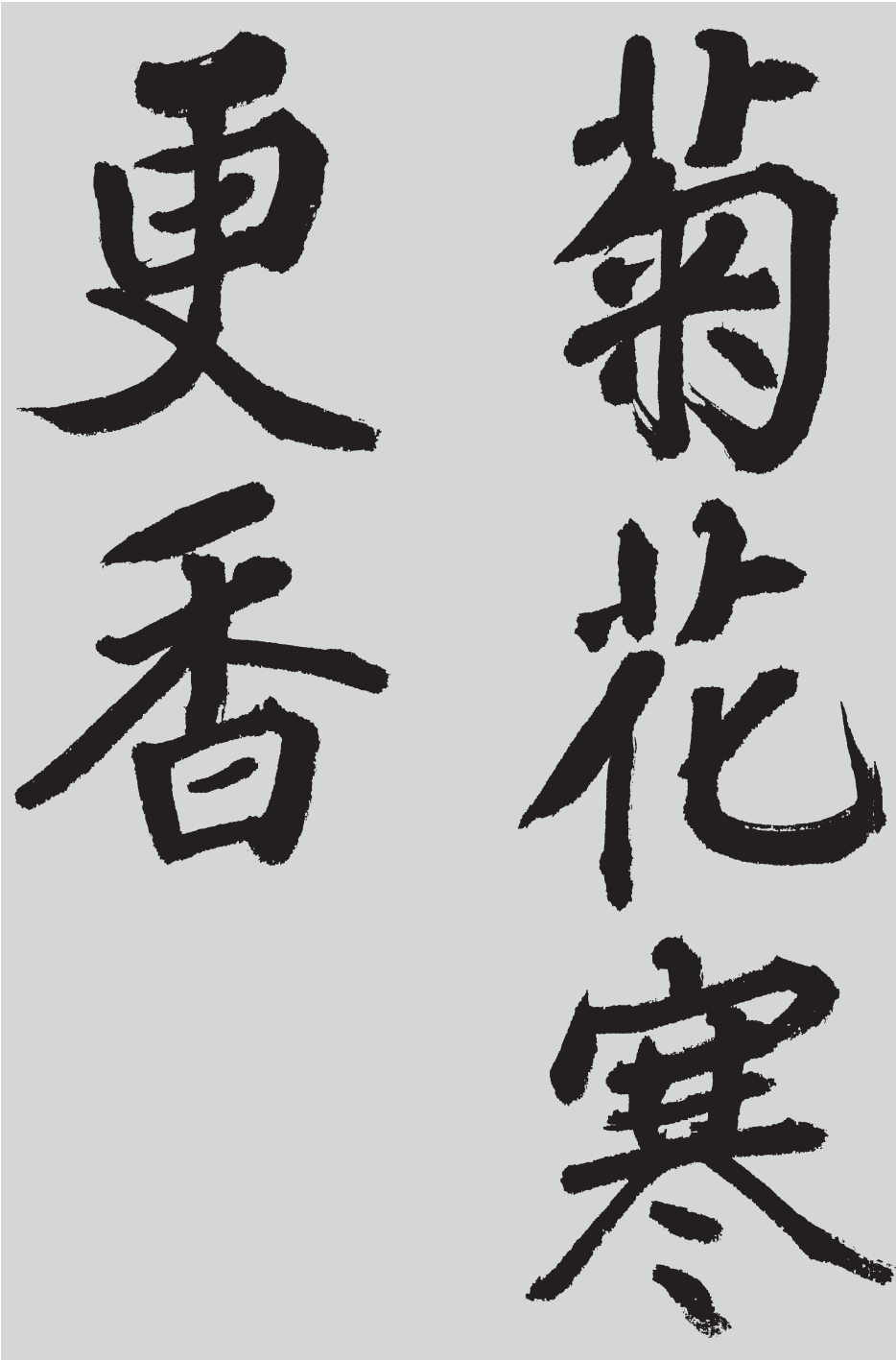
秋の航
一大紺円盤の中
中村草田男

漢字畑の方々から、漢字かな交じり書は難しいというご意見をよく耳にします。今回、今回は漢字の多い作品を取り上げてみました。
漢字作品を書く時と同じように、思い切って墨を含ませて書いてみて下さい。だからと言って、表情のない単調な作品にならないように注意しましょう。私は紙もニジミの多いものを選びました。

中村草田男 (一九〇一年～一九八三年)
高浜虚子に師事し、「ホトトギス」の同人となるが、「ホトトギス」の花鳥諷詠的低徊趣味に合わず離脱。句集に「長子」「萬緑」「火の鳥」などがある。
この句の「一大紺円盤」は大海原に對するたとえであり、草田男の造語である。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

菊花寒くして更に香し(陸游)
訳: 菊の花は寒くなるほど香を増す。

宀 宀 宀
宀 宀 宀
宀 宀 宀

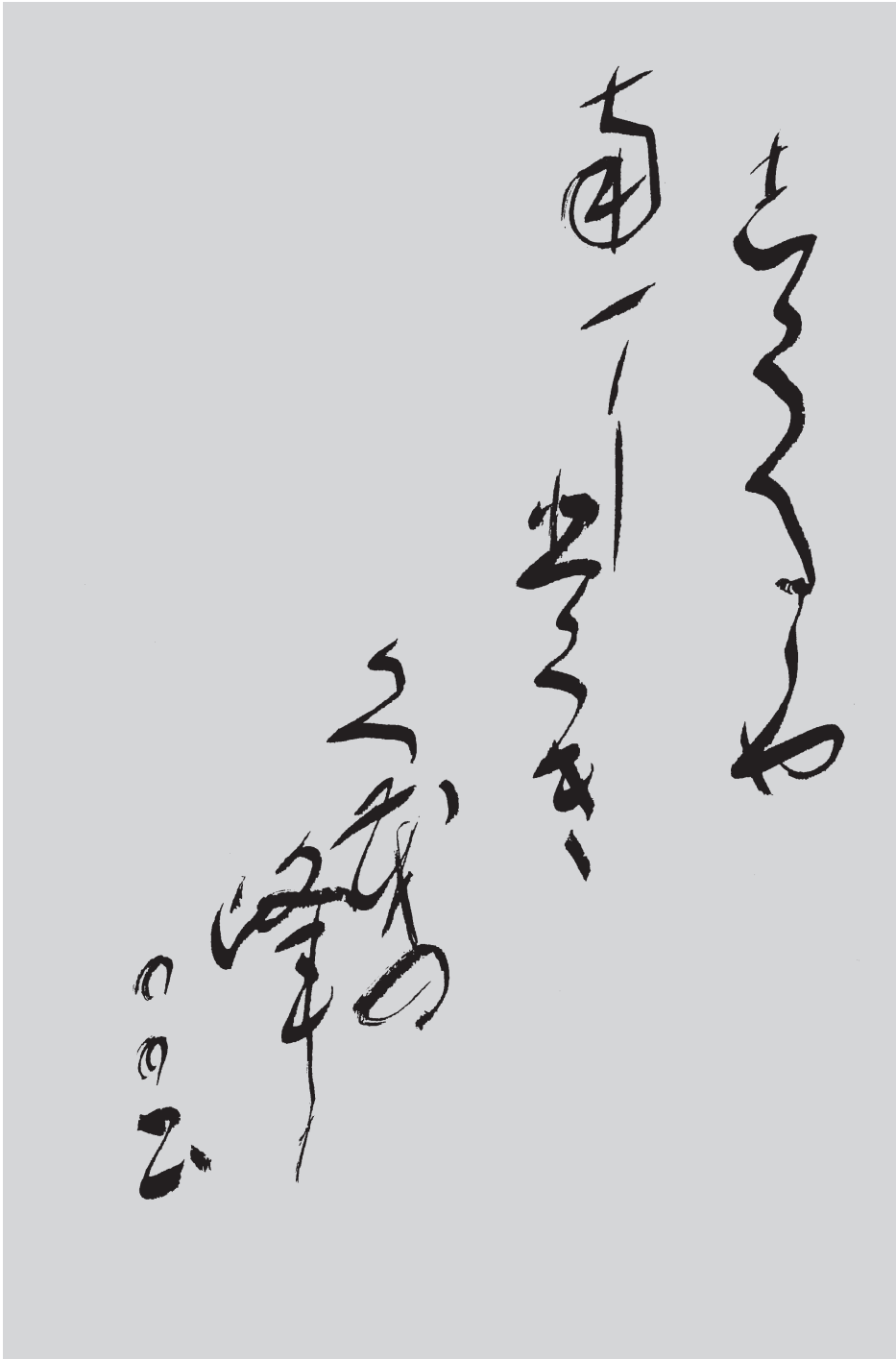
〈筆順はどちらでも〉
また、横画を四本にしたものが王羲之の時代にあります。字典を参考に使用してみることよいでしょう。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

しぐるゝや南に低き雲の峯（几董）
志久るゝや南耳悲久き久茂の峰



〈初歩段階、まず緩急のリズムを〉
書いてみて、初め五字連綿、筆意的にリズムに乗りやすく、特に「るゝや」が好きである。この「踊り字」から「や」への連綿がポイント。次に、「南耳」の直線味を効果的に。変体がない「悲」充分に書き慣れてほしい。左群は大字、太細の工夫に心がけて線質への関心の深まりに期待。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

楷、行、草、三 体 参 考

酒井香雨先生書

郎聽採菱女（李白）
郎は聴く菱を採る女

郎聽採菱女
郎聽採菱女
郎於採菱女

香雨書



訳：若者は菱の実を採る女の声に聴きほれて、

1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は430円。

随 意 部 参 考

北 沢 博 舟 先 生 書

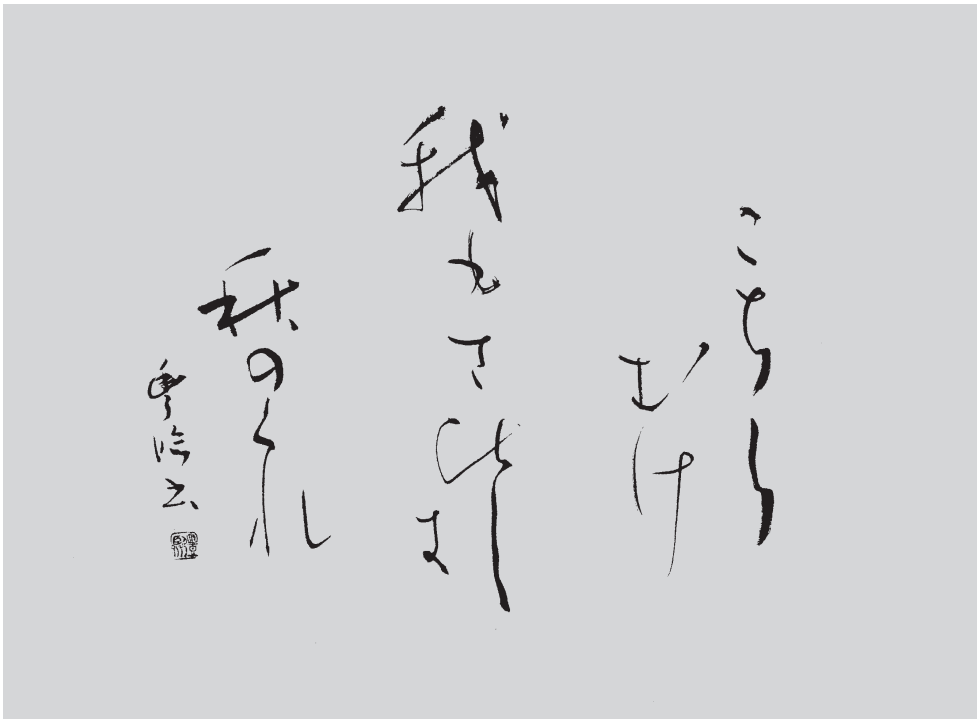
適意（いじやうい）在幽棲（あ）（愈長櫻）
適意幽棲（いじやうい）に在り。



訳：自分の気に入る事は物静かに塵外に栖むことである。

吉 原 豊 臨 先 生 書

こちらむけ我もさびしき秋の暮（芭蕉）
こちらむけ我もさびしき支秋の久れ



1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は430円

湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

正教授 創作部門 (自運作品、自由形式、硬筆用紙使用) で出品。二名の審査員による合計点数で優秀作品掲載。審査料一、〇〇〇円

心の美しい者は、皆に愛されるのは
 事実である。そして恐らく運命にも
 愛されるであらう。

盆地を距った真向うの空を仕切ると、
 白峰三山が威厳と優美を兼ねて
 連なっているのを望んで、山の好きな
 人で胸の高鳴らぬ者はあるまい。

課題1 (初段階以上)

盆地を距った真向うの空を仕切って、
 白峰三山が威厳と優美を兼ねて連な
 っているのを望んで、山の好きな
 人で胸の高鳴らぬ者はあるまい。
 「日本百名山」北岳 深田久弥

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン (黒色) を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入 (色は黒) はじめて出品される方は私製の紙 (3×4 cm位に) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円
- (6) 昇試規定は裏表紙を参照の事。

課題2 (初段階以下)

心の美しい者は、皆に愛されるのは
 事実である。そして恐らく運命にも
 愛されるであらう。

武者小路実篤のことは